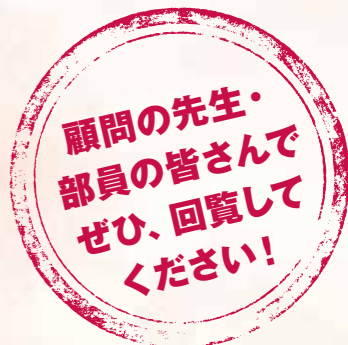




第192回
TopEye
賞
「気配」太田 愛有未
[福井県立丹生高等学校 3年]



ガンバレ写真部!
学校で、コンテストで、存在感じわじわ上昇中!
青森県立青森高等学校

「ありがち写真」から一歩踏み出す誌上写真教室
TopEye フォトスクール
ガラス製の小物をかわいく撮る

FRIENDS EYE
高文連 夏のイベントレポート特集

TopEyeOB/OG訪問
比嘉 緩奈 さん
(沖縄県立浦添工業高等学校OG)

「TopEye」フォトコンテスト受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください!

ニコントップアイ 検索



元気な先輩に出会いたい!
TopEye
OB/OG訪問!

写真を学ぶ先輩に
学生生活をインタビュー!



SENPAI- BEREL株式会社沖縄
file.22 比嘉 緩奈 さん

沖縄県立浦添工業高等学校OG
九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科 卒



「世代交代」で
第166回TopEye賞

「実は機械が苦手」なのに、なぜかカメラに惹かれて写真部に飛び込んだ比嘉さん。
大学で写真を学んだ後、今年から地元・沖縄のウェディングフォト制作会社に就職し、
全国からやってくる新郎新婦を撮影しています!

写真部で楽しかったのはやっぱり人との交流!

中学時代は吹奏楽部でしたが、ある時美術の先生に一眼レフカメラを貸してもらい、ズームレンズの見え方に感動!そこから写真に興味を持ちました。写真部の活動で楽しかったのは、撮影を通してたくさんの人と出会い、いろんな話をして仲良くなったことです。北海道で撮影させていただいた方のご家族からお手紙をいただいたのは、大切な思い出。大会で知り合った大阪の写真部仲間と、大学時代に旅行したりもしました。あんな楽しい時間を過ごせたのは、当時の顧問の先生のおかげ。改めて感謝を伝えたいです。

受賞を喜んでくれる人の存在が何よりの励み

受賞のたびに、家族やモデルをお願いした人が喜んでくれるのが、とても励みになりました。TopEye賞をいただいた作品で真ん中に写っている祖母は、「賞をとったから、ウチに取材に来るかも?」なんて言っていました(笑)。ある作品で撮影させていただいた市場の「おばあ」に受賞を伝えたら、「私も頑張ろうって気になるさあ!」とってくれたのを今でも思い出します。

新郎新婦が望むイメージを汲み取って形に

大学在学中にやっていたアルバイトがブライダルフォト関連の会社で、就職先も同じ業界を選びました。現在は「前撮り」(式の前に行う記念撮影)と、式や披露宴のムービーを担当しています。沖縄の美しい海で、新郎新婦とコミュニケーションしながらの撮影は楽しいですが、お客様が望む撮影イメージを汲み取るのは難しい!打ち合わせで聞いた話からアイデアを膨らませたり、移動中に会話して人となりをつかむようにしています。まだ日が浅いので、日々模索中です。最近いところ生まれたので、たびたび撮影しに行きます。今考えているのは、この子に写真で「絵本」を作ってあげること。大学時代にふと浮かんだアイデアで、この機会に形にしようと思っています。もちろん腕をもっと磨いて、自分の作品づくりもしてみたい!



社員旅行で中国に。街の様子を360°写真にしてみました。

高校生の写真ってレベルが高い!

今も時々WEBで「TopEye」をのぞいたり、雑誌の高校写真コンテストを観たりしますが、年々レベルアップしてるなあと感じます。教育実習で母校に行った時に写真部にも顔を出し、先輩が自分の好きなジャンルを懸命に深掘りしているのが素敵だと思いました。突き詰めるほど楽しくなる気持ち、とても分かります。皆さんも、好きな世界をどんどん撮ってくださいね!



プライベートでも写真は撮りにいきます。やっぱり海が好き!



元気ないとこを撮りに行くのも楽しみです。

Information

部員さんも、顧問の先生ものぞいてみよう!

www.nikon-image.com/enjoy/

ニコンのWEBサイト「Enjoyニコン」

ニコンイメージングのWEBサイトに、撮影のヒントがたくさん載っているページがあるのをご存知ですか?「ガンバレ写真部!」の取材で、顧問の先生に「参考にしていますよ!」と言われることもたびたびです。講習会や被写体探し、撮影会に、ぜひご活用ください!



撮影テーマを見つけよう!

好きな写真の「撮り方」レシピ

季節ごとにオススメの被写体を取り上げて、設定の決め方や撮影のヒントをイラスト付きで解説!

撮影会の候補探しに!

すぽっとサーチ

今、行われている撮影会のお祭りやイベントを、都道府県別・ジャンル別に検索!

カメラをもっと知ろう!

デジタル一眼レフカメラの基礎知識

「露出ってどう決めればいいの?」「ISO感度ってなに?」といった日常の素朴なギモンから、「そもそもカメラの仕組みって?」みたいな探究心にもバッチリおこたえ!

レンズのAからZまで!

レンズ関連記事

被写体や場所に応じたレンズの選び方がわかる「レンズレッスン」、レンズの仕組みや手入れ法を解説した「レンズナレッジ」、開発秘話に迫った「ニッコール千夜一夜物語」…すぐに役立つ情報からマニアックな知識まで!

写真展のお知らせ

TopEye元読者もたくさん進学している大学の写真学科が、成績優秀な在学生の作品による写真展をニコプラザで開催。芸術の秋に、先輩たちの力作を観に行こう!

2019年度 大阪芸術大学 写真学科選抜展「NEXT」

10月31日(木)~11月6日(水)
ニコプラザ大阪 THE GALLERY
10:30~18:30(日曜休館・最終日は15:00まで)

「出て来い新人8」 日本大学芸術学部写真学科 気鋭学生写真展

11月19日(火)~11月25日(月)
ニコプラザ新宿 THE GALLERY 1
10:30~18:30(日曜休館・最終日は15:00まで)

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3020

次号は
12月16日
発行予定です

TopEye賞



賞品
・ニコンデジタル一眼レフカメラ
D3500レンズキット
・賞状

表紙に
大きく
載ってるよ!!



「気配」太田 愛有未

福井県立丹生高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 55-250mm
- Sオート (1/250秒) (3枚とも)
- ISOオート (3枚とも)

とても詩的で美しい作品です。一枚一枚の絵作りもしっかりしている上に、組写真の構成力も素晴らしい。大人びた独特のセンスがあると思います。光と影を使って静謐な物語を生み出しており、想像力を掻き立ててくれます。これからどんな作品を作っていくんだろうかと、作者のこの先に期待しています! (藤岡)

第192回 TopEye賞 受賞

太田 愛有未さん

受賞のコトバをどうぞ!!



この度は、TopEye賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。この写真は京都駅で撮影しました。午後の優しい光が差し込んでいて、影が印象的だったので、影に焦点を当ててシャッターを切りました。このような名誉ある賞を頂いたのも、いつも一緒に撮影している友達や熱心に指導してくださる顧問の先生のおかげです。その方々に感謝し、この賞を励みにしながらこれからも写真を撮り続けていきたいです。

準TopEye賞



賞品
・ニコンデジタルコンパクトカメラ
W300 BK (ブラック)
・賞状

「おばあちゃん家」 堀田 愛里

沖縄県立知念高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm (1枚目)、10-22mm (2~4枚目)
- M (1/200秒・f/5.6、1/50秒・f/5.6、1/50秒・f/5.6、1/60秒・f/8)
- ISO1600、3200、500、3200

素直に何気なく「おばあちゃん家」を撮っているようにも見えますが、スナップとしての完成度も高く、なんとなく懐かしくなる光景で綴られた物語に、見る者も引き込まれます。まるで映画のスクリーンのように。おばあちゃんの顔はどこにも写っていませんが、それだけに私たちに想像する楽しさを与えてくれます。(藤岡)



審査員 藤岡 亜弥

広島県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを教えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

審査員 熊切大輔

東京都生まれ。東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。その後フリーランスの写真家として独立。広告や雑誌などで「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真協会理事

細かい部分にも気を配った作品づくりを

今回は2,737点もの応募があり、審査も白熱しました。素晴らしい作品が多く、絞り込むのにずいぶん迷いましたが、同時に見せ方が甘いものも目につきました。中でも気になったのが、2Lなど小さなサイズの写真が多かったことです。小さなサイズでたくさん出すより、A4サイズで細部に気を配って1枚作り上げる方が作品の質も上がり、写真を考える力もつきます。また、確かな技術がありアイデアが秀逸な作品も、タイトルが甘かったりコメントに力が入っていないと、「どうかな?」と思ってしまいます。自分の写真を、言葉を使って考えることもとても重要です。最後まで気を抜かず作品づくりを。

入選

賞品
・ニコンオリジナルグッズ
FLX トートバッグ
・賞状



「斜陽」馬島 好花

島根県立大田高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●Pオート ●ISOオート

モノクロームの女性のポートレートは難しいものです。本作はあえて順光で陰影を固くし、そこに枯れた草木を配する事でより力強い表現にしたことが、モデルのキャラクターにも一致しているように思えます。どこか昭和を感じるような、時代を超えた魅力を感じます。(熊切)



「Nice ホームラン!」

高橋 愛果

愛媛県立今治北高等学校大三島分校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●Sオート (1/3200秒) ●ISO6400

一瞬の出来事を切り撮るのもスポーツ写真の魅力ですが、練習中ボールがネットに当たった時の光と影が生み出すディテールを主役にする、一味違う被写体選びをしました。被写体を決め打ちしないで周りの様々な物にも興味を持つことが、独自の作品を生み出すポイントになります。(熊切)

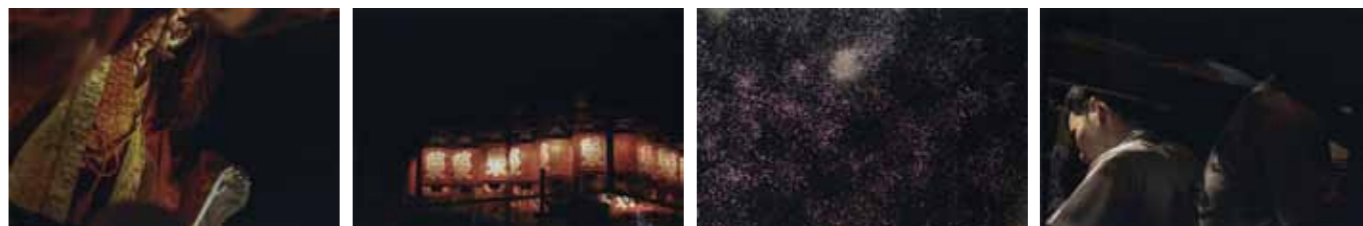


「文学少女」太田 優李

千葉県立四街道高等学校 1年

- COOLPIX B500 ●Pオート ●ISO125

本棚に映る少女の影。まるで絵画のような仕上がり魅力です。影が生み出す像と書籍のバランスが、絶妙な構図を作り上げています。シルエットの作品は多くありますが、影を活かすにはハイライトの部分の画作りを意識することが重要です。それがうまくまとまった作品です。(熊切)



「終わりゆく時間」 谷口 朱胡

和歌山県立神島高等学校 1年

- D7500 (2枚目)、デジタル一眼レフカメラ (1、3、4枚目)
- 18-55mm
- Aオート (f/2、f/5.3、f/2.5、f/2.5)
- 露出補正 -1EV (2枚目)、-1.7EV (4枚目)
- ISO4000、40000、4000、2000

勇壮な祭り本番ではなく、終わり際という少し切ないタイミングを題材にしました。祭りなのに静けさを感じる被写体選びと撮り分けが、映画のワンシーンのようなドラマを感じさせます。淡々とした切り撮りがうまくリズムを作って、見る者をその世界に引き込んでくれます。(熊切)



「ムカデリレー」 津穂 桜咲

山口県立防府高等学校 2年

- D5600
- AF-P DX18-55mm
- Aオート (f/5.6) (4枚とも)
- ISO800 (4枚とも)

キャプションには「これから始まるリレーの緊張感を撮った」とありますが、作品からはむしろ、ゆるく楽しい体育祭といった真逆の印象が感じられます。美しい青の表現がまさに青春のキラキラした一コマを描いているように思えます。学生の爽やかさに溢れた作品です。(熊切)

受賞ポイント

- TopEye賞 100ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) 50ポイント
- 準佳作 (20作品) 20ポイント
- 準TopEye賞 70ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) 30ポイント
- ※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

佳作

賞品

- ・ND オリジナル リバーシブルポーチプロ
- ・賞状



「男気」近藤 那知

香川県立観音寺第一高等学校 1年

- D5600 ●AF-P DX70-300mm
- Aオート (f/6.3, f/6.3, f/6.3, f/5.6)
- ISO400, 400, 500, 400



「記憶」山崎 和夏

法政大学第二中・高等学校 (神奈川県) 高校 3年

- D3400 ●AF-P DX18-55mm
- オート ●ISO180



「喰らえ。」篠原 謙吾

群馬県立富岡実業高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- M (1/400秒・f/8) ●ISO800



「繋ぐ」大保 陽菜

熊本県立第二高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- オート ●ISO800



「休翼日」平井 康生

奈良県立王寺工業高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ ●17-50mm
- Aオート (f/4.5, f/5, f/5.6, f/4.5)

- 露出補正 -1EV (4枚とも)
- ISO4000, 6400, 6400, 4000



「型にはまる」鈴木 優太郎

宮城県白石工業高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●M (1/200秒・f/11) ●ISO1600



「挑戦」佐々木 日和

新潟県立長岡農業高等学校 1年

- D5100 ●AF-S DX18-55mm
- オート ●ISO100

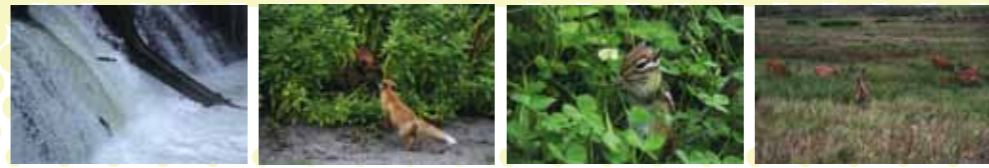


「雨にうたえば」

針谷 藍乃

埼玉県立妻沼高等学校 1年

- D5600 ●AF-P DX70-300mm ●M (1/500秒・f/6.3)
- 露出補正 +0.3EV ●ISO800



「北国の出会い」加藤 春樹 加藤学園暁秀中学校・高等学校 (静岡県) 中学2年



「ハト目線」西村 七海 大阪府立成城高等学校 1年



「クリムゾンシャワー」志賀 美月 新潟県立長岡農業高等学校 2年



「群舞」後藤 桃萌 愛知県立知立高等学校 2年



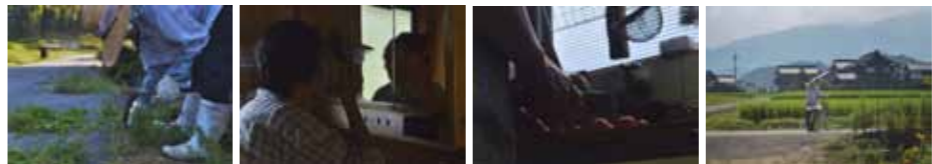
「waiting for...」西小野 涼香 広島県立広島商業高等学校 3年



「構成」坂本 福斗 九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県) 2年



「爽風」村上 あゆみ 広島県立広島商業高等学校 3年



「日常」三好 真衣 香川県立観音寺第一高等学校 1年

準佳作

賞状



「もっと高く...」山地 里奈 香川県立坂出商業高等学校 1年



「あーそーぼー」針谷 藍乃 埼玉県立妻沼高等学校 1年



「少女5人」関 晏菜 香川県立観音寺第一高等学校 3年



「細胞分裂」伊藤 ちひろ 神奈川県立瀬谷高等学校 3年



「水の誕生」和田 知己 法政大学第二中・高等学校 (神奈川県) 高校1年



「虚心」村松 真帆 愛知県立津島東高等学校 2年



「ファーストコンタクト」秋山 遥香 山口県立下松高等学校 2年

TopEye 2019年度 成績中間発表 vol.2

1位	千葉県立四街道高等学校	170ポイント
2位	和歌山県立神島高等学校	140ポイント
3位	福井県立丹生高等学校	130ポイント
4位	神奈川県立瀬谷高等学校	110ポイント
5位	大阪府立成城高等学校 八代白百合学園高等学校 (熊本県) 沖縄県立知念高等学校	90ポイント

8位	新潟県立長岡農業高等学校 沖縄県立浦添工業高等学校	80ポイント
10位	愛知県立津島東高等学校 香川県立観音寺第一高等学校	70ポイント

▶12位 (60ポイント) 宮城県白石工業高等学校 ▶13位 (50ポイント) 群馬県立富岡実業高等学校 / 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 (群馬県) / 埼玉県立妻沼高等学校 / 法政大学第二中・高等学校 (神奈川県) / 島根県立大田高等学校 / 山口県立防府高等学校 / 香川県立坂出高等学校 / 愛媛県立今治北高等学校 / 熊本県立第二高等学校 / 宮崎県立佐土原高等学校 ▶23位 (40ポイント) 宮城県農業高等学校 / 富田高等学校 (岐阜県) / 愛知県立知立高等学校 / 広島県立広島商業高等学校 / 山口県立下松高等学校 / 香川県立坂出商業高等学校 ▶29位 (30ポイント) 埼玉県立戸田翔陽高等学校 / 東京都立八丈高等学校 / 関市立関商工高等学校 (岐阜県) / 大阪府立生野高等学校 / 奈良県立王寺工業高等学校 / 広島県立庄原格致高等学校 ▶35位 (20ポイント) 北海道岩見沢高等養護学校 / 東京都立総合芸術高等学校 / 加藤学園暁秀中学校・高等学校 (静岡県) / 長野県屋代高等学校 / 出雲北陵中学・高等学校 (島根県) / 香川県立高松桜井高等学校 / 九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県)

次回締切は ▶ 11月8日 当日必着 (作品応募概要をよく読んでご応募ください)

「TopEye全国高校生写真サミット2020」開催決定!

前回までの学校対抗から、写真家の指導を受けながら作品づくりを体感する場になります!

開催日 2020年1月31日(金) ~ 2月2日(日)

開催場所 横浜美術館(神奈川県横浜市)

出場15校はよいよ次号発表予定です! /

ガンバレ写真部!!

夏の真っ盛りに、お訪ねしました青森県。進学校として知られる県立青森高等学校の写真部は、一見おとなしげな部員さんが多いけど、話を聞いてみるとそれぞれ、写真へのこだわりがなかなか。顧問の先生と力を合わせて、存在感をじわじわアゲてる様子です!

青森県立青森高等学校



後列:工藤寛仁くん、船橋くん、工藤龍樹くん、岩崎くん、湊くん、吉町くん、丸尾くん、秋田くん、工藤翔太くん、顧問の島村先生
前列:永野さん、佐藤さん、川村さん

部員: 14名(1年8名、2年4名、3年2名)
歴史: 創部年は不明。でも引き伸ばし機があるので、フィルムカメラ時代からの歴史はあるはず。
活動: 水曜にミーティングと、写真教室by顧問の先生。金曜はプリントデー。あとは自由に「写んぼ」! 行事は春の撮影会、文化祭の作品制作合宿など。その他、校舎各階のラウンジで作品展示、部室前に作品でつくったポストカードを展示...などなど。
機材: フィルムカメラ数台、デジタル一眼レフカメラ1台、パソコン1台、プリンター1台。カメラは個人所有も多し。
部費: 年間部費45,000円。インク、用紙に約3万、学園祭の写真展費用に約1万、予備費5千円ととんとん。今年度はフィルム写真に挑戦するので、部費集金するかも...。
部費節約のポイント: プリント料金や送料が無料のコンテストには積極参加。学園祭などで大量にプリントする場合には、地域の写真屋さんで発注するほうが安上がりです!

顧問と部員の「部活活性化大作戦」!

数年前は部員数名で、それぞれなんとなく写真を撮って...みたいな活動だったとか。でも、昨年度から顧問に就任した島村先生と当時の部長さんがアイデアを出し合って、①コンテスト応募 ②週1回の写真講習会 ③校内展示の充実...などなどの活性化策を展開。目標ができ、校内でも知られ始めるなど、モチベーションとボルテージがじわじわ上がってきたそうです。いいぞいいぞ!



文化祭では楽しいスナップと「The作品!」の二本立て!

ご自由にお持ちください!



暗室もあるので、フィルム写真にも挑戦します!

顧問の島村先生

写真を撮り始めてかれこれ10年。カメラ店のWEBサイトや、ニコニコWEBの「ニコニコ千夜一夜」などで日々勉強しています!

島村先生の「写真の心得」!

- 写真で「ストーリー」を表現
- ・写真の「主題」「副題」を設定しよう!
- ・タイトルもしっかり考えよう!
- 撮る経験をたくさん
- ・どこへでもカメラを持って行こう!
- ・設定やアングルをいろいろ変えてみる!
- ・いい画が撮れるまで何枚でも撮ろう!
- 「観る」「観られる」も大事!
- ・撮ったら仲間に披露!
- ・人の作品もたくさん観て、技を学べ!



好きなところで、好きに撮る!

活動の中心は、個人の自由撮影。水曜の講習会と金曜のプリントデー以外は、「好きなところで、好きに撮る」。撮影会は桜の季節の弘前公園、合宿は校内の合宿所で文化祭のための作品制作...と、全体で何かを撮りに行く機会はそれほど多くありませんが、山も海も近いし、ちょっと遠出すればキレイなスポットもあるし、「撮り鉄」にはたまらん貨物駅や新幹線駅も近いし。自由な撮影欲がコンコンと湧き出る環境ですね!



しばりのゆるさが生んだハイブリッド化!?

実は兼部も自由なんです、それが結構面白い展開につながることもありまして。たとえば音楽部所属の部員が舞台からの写真を撮ったり、テニス部の部員が練習風景を撮ったり、放送委員の部員が機材を撮ったりと、「兼部してないと撮れない作品」が飛び出すことも。自分だけの経験が活かせるのは、写真活動ならではのですね!



応援団×写真部!



生徒会×写真部!



撮った時には気づかなかった発見も面白い!



工藤翔太くん撮影

シャッター音がいい。メカ好きなので。あ、文具も好きです。



露出やシャッター速度次第で、絵がガラッと変わるのが面白い!

選んで、画像を調整して、作品にして、見てもらって。写真は、撮った後が楽しい!

自分だけが見た瞬間を、自分の技で伝える! ワクワクします。



丸尾くん撮影



吉町くん撮影



カメラをいじるのが好き。最近は光の具合にこだわってます。



湊くん撮影



船橋くんの作品(文化祭に出品)



工藤龍樹くん撮影

日常で見かける草花を、歩き廻りするのがお気に入り!



機関車が好きです。よく行く撮影場所は東青森の貨物駅!



秋田くんの作品(文化祭に出品)

「いいヤツ」「変なヤツ」に評価が分かれる!? 2年リーダーの岩崎くん

たとえば家の庭にも、樹木に石、雨に濡れた葉などがたくさん。撮りたいものがたくさん。

優しくて親しみやすい人柄! 部長の工藤寛仁くん【テニス部も兼部】

見ている風景のどこを切り取るか考え、作り込む過程が楽しい!

日常で見かける草花を、歩き廻りするのがお気に入り!

美しい風景を撮りたい。旅行で行った奥入瀬渓流でもたくさん撮りました。

次期生徒会長!!



岩崎くん撮影



工藤寛仁くん撮影

うまく撮れた時の快感は、ずっと変わりませんね!



佐藤さんの作品(文化祭に出品)

川村さん撮影



永野さん撮影

高文連から

「第40回青森県高等学校総合文化祭写真部門」へ向けて

青森県高等学校文化連盟写真部委員長 掛端 秀彦

今年最大イベント「県高総文祭」が10月25日から三日間、黒石市の「スポカルイン黒石」で開催されます。県内写真部加盟校の33校より300名を超える部員が、入賞を目指して約400点を出品。日常や学校生活を高校生ならではの感性・視点で捉えたユニークな作品が多数です。誰でも気軽に撮影できる時代になりましたが、被写体に真剣に向き合い、一瞬を切り取った高校写真部員の意気込みや魂が感じられる作品展となっています。

昨年度の様子

「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

「フォトスター」

いつもの被写体でグッと魅力的な写真が撮れるちょっとした工夫を、毎回ご紹介!



サッチャン 斎藤先生 エイ太くん

今月のテーマは…

ガラス製の小物をかわいく撮る

身のまわりの小物を使って世界を作りこむ撮影も楽しいよね。

今回は、自然光を美しく活かせるガラスの小物を使って、キラキラな写真に挑戦!

今回の作例



【撮影データ】
●使用カメラ：Nikon D5500 ●使用レンズ：18-55mm(焦点距離：45mm) ●ISO100
●露出モード：絞り優先オート(1/15秒、f/8) ●露出補正：+1.0 ●ホワイトバランス：オート ●ピクチャーコントロール：ピピッド

撮影意図

ガラスでできたキャンディや王冠を、自然光を利用して撮影。透明感や反射の感じを活かし、キラキラと可愛い質感を表現したよ。

ありがちな撮り方



室内撮りで自然光を利用すると、基本的に「逆光」になるので、手前にも光を回す工夫が必要。でないと、こんな風にやや暗い部分が出てしまうのだ。

秘 公開!撮影の瞬間



今回は、二つ折りのA4用紙を2枚使って「レフ板」を作ったよ!

2014年12月号 わくわくデジタル写真ゼミ
「紙1枚で「ブツ撮り」グレードアップ」を **CHECK!**

POINT

照明のコツ

1

自然光を「あえてそのまま」利用!

室内撮りの定番のワザが、窓にトレーシングペーパーなどを貼って「光を柔らかくする」という工夫。でも、ガラス製品の透明感や輝きを活かすためには、やらない方がいい。自然光のパワーをそのままいただく!

2016年2月号 TopEyeデジタル写真なるほど教室 「お弁当を本気で撮ってみる」を **CHECK!**



窓にトレーシングペーパーを貼って撮影

ガラスを透過する光が弱く、くすんでいて輝きがない。



自然光を直接当てて撮影

強い光がガラスを透過して、明るい輝きが表現できた!

POINT

設定の基本

2

露出は「明るめ」補正がマル!

マル

ガラスのような透明感のある被写体は、露出を明るめにして透明感や輝き感を強調したい。今回は絞り優先オートで撮ったので、露出補正を「+」にして明るめに撮ったよ。



露出補正 -1.0

画像全体が暗くなり、透明感が表現できていない。



露出補正 ±0

被写体によっては適正かも。でも今回はもう少し明るさが欲しい!



露出補正 +1.0

透明感や輝きなど、ガラスっぽさが出たね!

POINT

構図のコツ

3

「画面いっぱい」に寄って撮る!

照明、露出を決めたら、あとは構図。作者のセンスで自由に撮るのが基本だけど、被写体の形や特色を活かすアングルや構図も考えようね。



真上から撮影

被写体によっては、こんなアングルもあり。でも、キャンディや王冠の立体感が出てない。



斜めから撮影

王冠がグッと立ち上がったけど、少し「遠慮がち」でバランスが良くない。しかも、背景に敷いたピンクの布がフレーム上部で切れちゃった!



斜めから & グッと寄りて撮影

立体感、バランスともに、被写体の質感を強調するように仕上がった!

今回の撮影では… ▲ 注意!!

- 物撮りには三脚がおすすめ!
手持ちより楽だし、被写体の配置やカメラの設定を変えて撮り比べるのにも便利。
- 三脚使用の時は、「手ブレ補正」OFF
カメラを固定して「手ブレ補正」(VR などと表記)機能を使うと、かえってブレしてしまうことがあるので注意!
- 天気に合わせてホワイトバランスを調節
晴れの日には「オート」で問題ない。曇りの日は、画像が青っぽくなるので、「晴天」や「曇天」を試してみてください!

次回は、空に注目!
流れる雲を「長時間露光」で撮るなんて、どうかな?



講師/斎藤 勝則

高文連写真専門部 夏のイベントレポート特集!!

写真部にとって、夏は学びと出会いの季節!!今年も「全国高総文祭」をはじめ、各都道府県で高校写真部の講習会や撮影大会が行われました。もちろん、ニコンもカメラ機材などを貸し出して活動を応援!熱気あふれる大会の様子をご紹介します。

第43回全国高等学校総合文化祭 2019 さが総文開催!

7/27~31(写真部門行事は 7/28~30)

高校文化部の夏の祭典、今年は佐賀県で開催。写真部門はお茶と温泉が名物の嬉野市を拠点に、写真展や各校との交流会、そして県下のフォトジェニックな場所を撮り歩く撮影会など、出会いと体験の3日間でした。

審査員 齊藤 勝則氏 若子jet氏 勝倉 峻太氏

全国からの力作を一挙展示

嬉野市中央体育館で「全国写真展・県内企画展」も開催。写真展会場に設けたニコンブースにも、たくさんの方が来てくれました。



佐賀県の高文連写真部の皆さんが受付をはじめいろんな係を務めました!

開会式で写真家による講演会



齊藤勝則氏
「魅せる写真・理想の風景を求めて」

お茶のお店で、美味しい入れ方を教わりました。

1日目 地元・佐賀県の高校生の案内で懇親会!



写真交換・ミニアルバム制作



会場のある嬉野市を散策して交流も

2日目 佐賀県各地で撮影会



吉野ヶ里歴史公園
祐徳稲荷神社・太良方面
有田町

高総文祭の優秀作品をニコンプラザでも展示!

第43回全国高等学校総合文化祭

写真部門優秀作品展・ フォトセミナー

「2019さが総文」に出品された優秀作品を、新宿・大阪のニコンプラザでも展示。会期中、プロ写真家による高校写真部対象のフォトセミナーも行われました!

新宿 8/20~9/2

大阪 9/12~9/18

ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1 | ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

熱気あふれるフォトセミナー

「スナップ写真の取り組み方
日常をフォトジェニックに!」



8/24 講師:熊切 大輔 先生
8校・45名参加

「写真が教えてくれること」



9/14 講師:西村 仁見 先生
6校・41名参加

おわびと訂正 前号(2019年6月号)のフォトセミナー告知におきまして、西村先生のお名前に誤りがありました。おわびの上、訂正いたします。(誤)西村 仁美 (正)西村 仁見

第3回 全九州高等学校 総合文化祭 宮崎大会

会場 宮崎市民プラザ(宮崎市)
講師 中島 雅隆氏(宮崎日日新聞社写真映像部長)

九州の高文連写真部門による大会では、各県から代表生徒10名ずつ、59校の写真部員が集まりました。初日は朝10時から夕方にかけて自由撮影、作品のパネル貼り、プレゼン原稿準備まで行う濃密な1日! 2日目には撮影作品の鑑賞会と、講師の先生に向けてのプレゼンテーション、表彰が行われました。



ニコンブースにもたくさん来ていただきました!

優秀作品の写真展は12月!

第25回 九州高等学校文化連盟写真展

2019年12月12日(木)~15日(日)

宮崎市民プラザ 4階ギャラリー (宮崎市橋通西1丁目1番2号)



高文連 夏のイベントレポート特集!!

北海道高文連・石狩支部 6/16

令和元年度 高文連石狩支部写真専門部 生徒・顧問対象写真技術講習会・撮影会



会場 北海道開拓の村(札幌市)
講師 浅野 久男氏

開拓時代の建物を再現した「開拓の村」を会場にした講習会、今年は34校・200名が参加。時代を感じる建物を被写体にした撮影、緑豊かな会場でのスナップ撮影、また浴衣姿のモデルさんを被写体にした人物撮影と、普段なかなかできない撮影を楽しみました。

秋田県高文連 7/31

第27回 全県写真講習会



会場 県立明德館高校(秋田市)
講師 佐藤 淳氏

県高文連と朝日新聞東京本社秋田支局の共催で毎年行われている講習会、今回は15校・91名が参加。一眼レフカメラに初めて触れるという1年生部員も多く、カメラの基本的な使い方の解説や、撮った作品の講評もとてもいいに行われました。2学期からはもっと写真が楽しくなるかも!

島根県高文連 9/6~7

令和元年度 島根県高文連写真部門撮影技術大会



会場 島根県立青少年の家 サン・レイク(出雲市)
講師 東京工芸大学写真学科から5名

島根県では9月に1泊2日の講習会を実施。今年は17校・181名の生徒さんが参加しました。1日目は出雲大社、一畑薬師、松江城での撮影を楽しみ、撮影作品の講評会も。翌日のワークショップでは、有名作家の写真技を再現する「真似写真」や「衣服」をテーマにした写真などに取り組みました!

北海道高文連・空知支部 6/24

令和元年度 高文連空知支部写真部 春季研究大会



会場 岩見沢市民会館・文化センター まなみーる 展示室/音楽室
講師 浅野 久男氏

空知地区の大会は、11校・125名が参加。学校バラバラで5~6名のチームに分かれ、「チーム内の誰かを入れた作品を撮る」というテーマで撮影会。撮影作品の鑑賞の時間には、参加生徒による投票も交えて今回の優秀作品を決めるなど、写真仲間との交流を大切にされた大会でした。

宮城県高文連 8/4~8/6

第18回 写真部夏季写真撮影大会



会場 国立花山青少年自然の家(栗原市)
講師 熊切 大輔氏、佐藤 岳彦氏

宮城県では2名のプロ写真家を迎えた、2泊3日のプログラム。カメラの扱い方や撮影の基礎、写真セレクトと3回に渡るセミナーをしながら、自然豊かな会場施設を舞台に、初日の夕方、2日の午前、午後と、様々な時間帯の撮影を目標一杯楽しみました。参加した17校・96名のみならず、お疲れ様!

香川県高文連 8/17~18

令和元年度 香川県高等学校文化連盟写真専門部 生徒技能講習会 香川県高等学校写真撮影競技大会2019



会場 香川県藤井高等学校(丸亀市)、市民ふれあい会館(坂出市)、五色台少年自然センター(坂出市)
講師 藤村 大介氏、秋元 貴美子氏

香川県では、初心者向けの技能講習会と県高文連の撮影競技大会を同時に実施。10校・108名が参加しました。競技大会は、1日目は丸亀城のある丸亀市内、2日目は宿泊地の自然センター付近と、2つのステージで腕を競いました。講習会は2日目に坂出市内で撮影実習を行い、TopEyeでもおなじみの2人の写真家のアドバイスをいただきました。

JPS&全国高文連共催

令和元年度 全国高等学校文化連盟写真専門部 顧問技能講習会

毎年各地で行われる、(公社)日本写真家協会と高文連の主催による高校写真部顧問対象の写真講習会。カメラの基本操作を学んだ後は、街の公園などに出かけて撮影実習。撮影後は作品の講評会や、著作権、肖像権に関する注意事項もレクチャー。学んだ知識と技術を、ぜひ今後の写真部にも活かしてくださいね!

7/5

岩手県
13校参加



会場 岩手県立盛岡農業高等学校
撮影会 盛岡市内の公園、城跡など
講師 JPS副会長・松本 徳彦氏

7/13

福岡県
9校参加



会場 福岡大学附属若葉高等学校
撮影会 唐人町商店街(福岡市)
講師 JPS専務理事・山口 勝廣氏